

令和7(2025)年度 第3回こども会議

1 活動概要

令和7(2025)年10月25日(土) みよし市役所3階 研修室
参加者 小学生～高校生8人 大学生サポーター3人

2 こども会議の追加開催の背景

第1回・第2回のこども会議で参加者のみなさんは

「みよし市をより良くしたい」「私たちは伝えたい思いがある」
ということを強く感じました。

また、こども会議後の参加者アンケートで「みよし市に対する意見を伝えたかった」「市長と話がしたい」などの回答がありました。

そこで、みよし市に対する自分たちの思いについて意見交換をして、提案としてまとめる機会、それを市長に伝える機会を設定しました。

3 会議の流れ

アイスブレイク (うそ発見ゲーム)

グループワーク

- ・みよし市について思うこと・こんなみよし市にしたいをテーマにして作成した提案シートの発表・共有
- ・「大きな屋内あそび場施設を作りたい」をテーマにした意見交換
- ・市長、教育長への報告会のテーマ決め
- ・提案するテーマについての意見交換、提案内容の整理

4 当日の様子

まずは久しぶりでみんな緊張気味なのでアイスブレイク。
うそ発見ゲームで声を出していきます。



イヌ派かネコ派か？ 抹茶と紅茶とどっちが好きなの？
徐々に表情がほぐれていきます。

いよいよ本題のグループワークスタート！
初めに「みよし市について思うこと・こんなみよし市にしたい」
をテーマに皆さんが考えた、提案を発表しました。
提案のあった内容は、下のとおりです。

- ・ それぞれに合った教育を受けられるようにしてほしい
- ・ こども会議に参加していないこどもからも意見を集めたい
- ・ 大人もこどももみんなが楽しく遊べる施設を作してほしい
- ・ SNSやゲームとの関わり方を考える機会を作してほしい
- ・ 人が集まらない公園に人を集めたい
- ・ 学校で平和学習の機会を設けてほしい
- ・ 小学校をこえた交流をする機会をもっと作ってほしい

最初の意見交換のテーマは、みよし市が提案した
「大きな屋内遊び場施設をつくりたい」です。
全員で意見を出して、考えを見える化していきました。

この日の意見交換で大切にしたいキーワードは、
「ものごとを○と×ではなく、△と□で考えよう」
・ 意見に正しい・間違いはなく、どれも大切に素晴らしいもの
・ 自分の考えにこだわりすぎず、人の意見を前向きに聞こう



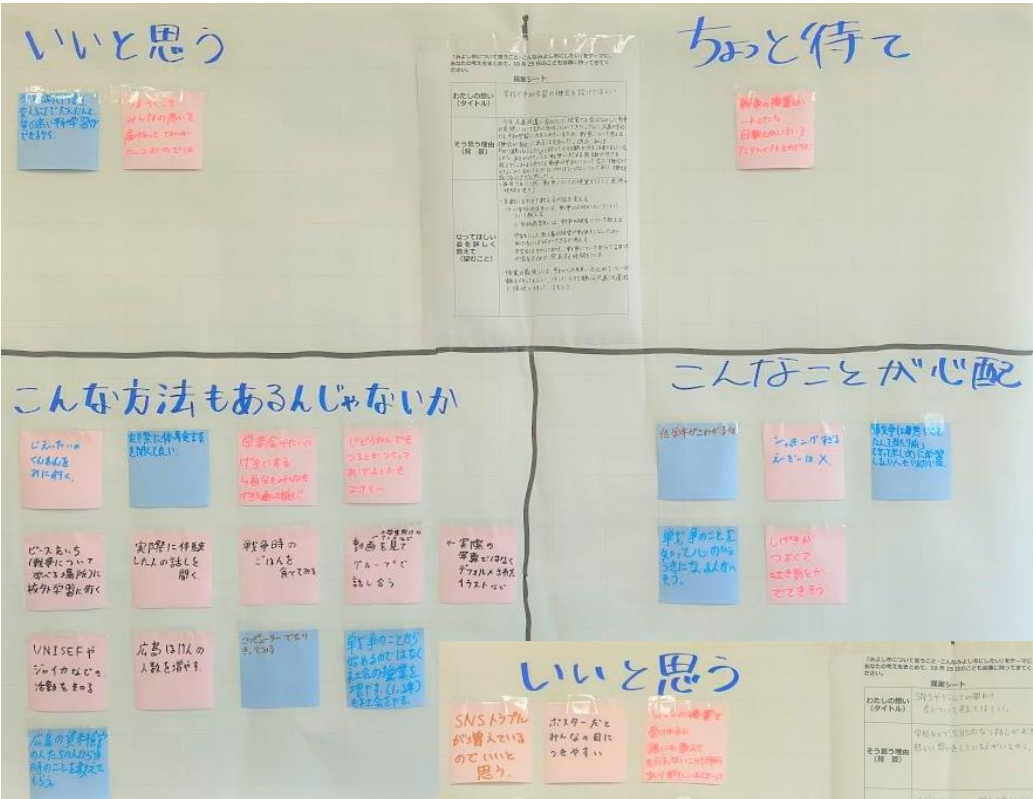
ちょっと休憩のおやつタイム
 前回のこども会議で自分たちで考えたルール
「お菓子は休憩のときだけ」
 来年のこども会議は、自分たちの想いをどんどん反映させていきま



普段の生活のことなどを気さくにおしゃべり
 雑談でもたくさん新しい発見があります。

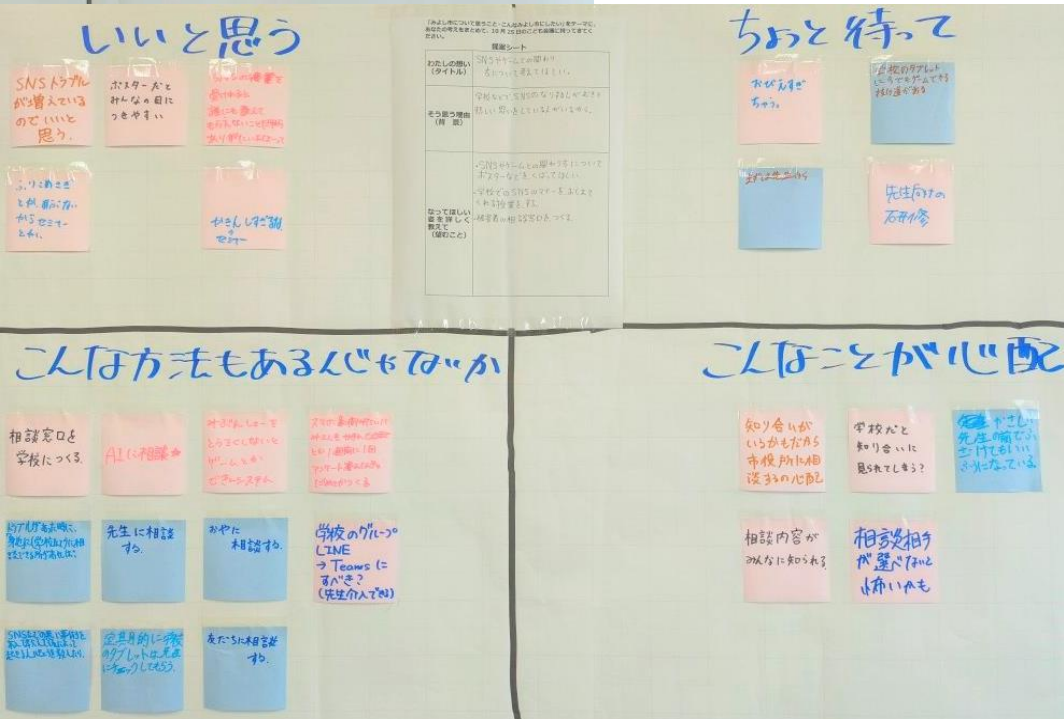


意見交換をするテーマを話し合って決めますが、候補はどれも想
 想いがつまった素晴らしいものばかり。
「たくさんのこどもが困っているか・喜んでくれるか」
「自分たちの生活に関係しているか」
「未来のみよし市や未来のこどもの暮らしに役立つか」
 それらを大切にしながら、しぼったテーマは次の2つでした。
「SNSやゲームとの関わり方を考える機会を作ってほしい」
「学校で平和学習の機会を設けてほしい」
 これらについて全員で意見交換をして、見える化しました。



←平和学習

S N Sやゲーム
 との関わり→



最終的にこの2つの提案シートが完成しました！！

Aグループ 提案シート

わたしたちの 提 案	SNS やゲームとの関わり方について考えたい
想い・背景	学校などで、SNS のなりすましが おきて悲しい思いをしている人が いるから
提案内容	・ SNS やゲームなどの関わり方について、ポスターなどを配ってほしい ・ SNS のマナーやトラブル時の対処法などを学ぶ授業やセミナーをする ・ 学校や公共施設に被害者の相談窓口を作る ・ A I に相談する ・ 先生が先にマナーを知るべき ・ グループチャットの監視は先生だけではなく A I にもさせる ・ 個人の意見を尊重する

Bグループ 提案シート

わたしたちの 提 案	学校で平和学習の機会を設けてほしい
想い・背景	広島派遣に参加して、授業では学べなかった戦争の実態について詳しく知れた。広島 の学校では平和学習に力を入れている。 『折り鶴プロジェクト』と称して千羽鶴を作る活動をしているが、声をかけた相手の戦争や平和に対する意識の低さを感じる。 知っておかなければいけないことなので、平和学習の機会を作ってほしい。
提案内容	・ 秋の学芸会で平和学習についての発表を行う。 ・ それに向けて5回ぐらい授業を行う。 ・ 年齢に合わせて教える内容を変える →小・低学年「戦争とは何か？」 →小・高学年「戦争の被害について」 →中学生「原爆の被害や戦争をしないために自分たちには何ができるか」 中学生は自主研究・自主発表の機会を作る ・ 資料館に行ったり、実際に経験した人の話を 聞くなど、体験系の授業を増やす。 ・ 授業の最後に平和への願いを込めて1人1羽鶴を折って千羽鶴をつくり、広島派遣団に現地に持って行ってもらう。 ・ 児童館でも千羽鶴を作る。